

# 国際看護研究会第11回学術集会(第50回国際看護研究会)

この度、独立行政法人国際協力機構(JICA)地球ひろばにおいて、国際看護研究会第11回学術集会(第50回国際看護研究会)を開催いたします。

国際看護研究会は今年度で13年目を迎え、学術集会は本年度で11回目となりました。

今回のメインテーマは、「世界で活躍する看護師の資質」とし、基調講演を踏まえて2つのワークショップを企画しました。

本学会が、国際看護の実践あるいは国際看護学の教育に携わる看護職や、看護の国際的な活動に関心のある学生の方々と有意義な意見交換の場になりますことを期待しております。皆様の積極的なご参加を心からお待ちしております。

日時：2008年9月20日(土) 9:30~17:00

会場：独立行政法人国際協力機構(JICA)地球ひろば

学術集会会長：札幌市立大学 大野夏代

学術集会テーマ：世界で活躍する看護師の資質

## <プログラム>

### 【第1会場 3階講堂】

10:10-10:15 オリエンテーション

10:15-10:20 開会

10:20-11:00 基調講演

座長：森 淑江(群馬大学)

「世界で活躍する看護師の資質」

第11回学術集会会長 大野 夏代(札幌市立大学)

11:05-12:05 一般演題(口演) 第1群「各国の看護事情(1)」

座長：伊藤 尚子(群馬大学大学院医学系研究科)

1. 在日外国人の保健医療における看護の課題に関する研究—先行研究の動向—  
穴吹 浩子(京都橘大学)
2. 京都市に在住している留学生への健康相談会報告  
上山 晃太郎(京都橘大学)
3. 小学校高学年児童の食事の分析からみた生活習慣病の示唆  
—フィリピンベンゲット州タバオの現地調査から—  
中田 りつ子(前信州大学医学部看護学科)
4. Policies and Challenges for the Implementation of Prophylactic Humanpapilloma Virus Vaccines:  
A Review of Four Industrialized Countries  
Sharon Hanley(北海道医療大学)

**12 : 05—12 : 35 一般演題（ポスター）**

- P-1. 中国人留学生の里帰り出産と健診における日中の文化的差異および看護についての考察  
多賀 昌江(札幌市立大学)
- P-2. 在日外国人と日本人の人口動態統計に関する比較研究—「日本」「韓国・朝鮮」「ブラジル」に焦点を当てて—  
李 錦純(大阪大学大学院博士後期課程)
- P-3. 北海道における中国人母子への育児支援事例の分析  
高室 典子(札幌市立大学)
- P-4. ニュージーランドにおける Birthcare-Birthing & Education Centre の実態  
中田 志保(富山大学医学部看護学科)
- P-5. メキシコ合衆国モレーロス州における伝統的産婆の現状  
濱口 陽子(大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程)
- P-6. JICA 短期看護専門家活動報告:スリランカにおける「ネルソン式蒸気吸入」VTR 教材作成  
金城 壽子(佐久学園佐久大学)
- P-7. NURSING EDUCATION IN PERU  
Aanny Fernandez(群馬大学)
- P-8. 日本の看護学の発展における看護学者の認識  
伊東 美佐江(川崎医療福祉大学)
- P-9. ネパール、タルク村でのホームステイ・訪問調査を通して  
亀田 美保(愛媛大学医学部)

**12:35—13:00 昼食・休憩**

**13:00—13:30 平成 20 年度国際看護研究会総会**

**13 : 35—14 : 20 一般演題（口演） 第 2 群「国際看護学の教育」**

**座長：久保 恭子（埼玉医科大学）**

5. 国際看護学の効果的な教育プログラムの開発に関する研究(2)  
—国際看護学の教育を行う意義に関する質問紙調査(第 1 報)—  
河原 宣子(京都橘大学)
6. 学部教育における国際看護学実習の展開  
佐山 理絵(東邦大学)
7. 看護教育における「在日外国人に対する看護」に関する教科の実施に関する現状  
—大学および短大のカリキュラムからの分析—  
北村 広美(大阪大学大学院人間科学研究科)

**14:30-16:00 ワークショップ1:『国際看護学』で学ばせたいもの(看護基礎教育課程)」**  
**ファシリテーター:森 淑江(群馬大学)**

**【スピーカー】**

- 京都橘大学看護学部における国際看護学に関する教育  
横川 裕美子(京都橘大学)
  
- 国際看護で学ばせたい内容  
芝山 江美子(高崎健康福祉大学)
  
- 看護の基礎を学ぶ国際看護学  
浅野 美智留

**16:00 閉会**

**16:00-17:00 茶話会 \* どなたでも気軽にご参加ください。**

**【第2会場 3階セミナールーム301】**

**11:05-12:20 一般演題(口演) 第3群「各国の看護事情(2)」**

**座長:宮菌 夏美(鹿児島大学)**

- 8. パラグアイで活動するための看護職の現状  
金川 真理(群馬大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程1年)
  
- 9. 救護者の心のケアに関する研究の現状  
野田 義和(群馬大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程)
  
- 10. 日本と開発途上国の看護の差異に関する研究  
ー中国で活動した青年海外協力隊員への面接と報告書からの分析ー  
辻村 弘美(群馬大学)
  
- 11. 南アフリカ共和国クワズールナタール州ピーターマリッツバーグにおけるHIV/AIDS 地域在宅ケアの実際  
橋本 秀実(三重県立看護大学)
  
- 12. イスラームにおけるスピリチュアルケア  
栗林 愛(同志社大学大学院)

**12:20-13:35 昼食・休憩**

**13 : 35—14 : 20 一般演題（口演） 第4群「国際協力」**

**座長：高田 恵子（埼玉県立大学）**

13. バングラデシュでの分娩予定日の診断法の向上に関する活動報告  
内門 弘子（愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻）
14. ガーナにおけるエイズ教育活動の実践  
相田 華絵（前青年海外協力隊員－エイズ対策）
15. タンザニア地方公立病院での 5S-CQI-TQM 導入報告  
永田 晶子（元 JICA タンザニア事務所フィールド調整員）

**14 : 30—16 : 00 ワークショップ2：「私が考える国際看護活動に必要なもの」**

**ファシリテーター：李 節子（長崎県立大学）**

**【スピーカー】**

- 国際看護への思いと揺らぎ  
藤戸未来（埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科2年）
- マイクロからマクロ、そしてミクロ  
佐山理絵（東邦大学医学部看護学科国際保健看護学）
- 知識・技術・健康・感謝  
宮菌夏美（鹿児島大学医学部保健学科）